



サイボウズ
Garoon

導 入 事 例

interview for

株式会社山下 PMC



■ DATA:
ご利用規模：230 ユーザー
ご利用製品：クラウド版 Garoon
導入パートナー：USEN Smart Works

スケジュールと kintone を連携し工数管理を効率化、全社ポータルも活用



事業概要

株式会社山下 PMC は、建築におけるプロジェクト・マネジメント、コンストラクション・マネジメントのリーディングカンパニーです。事業主の立場で、事業を創造する企画から施設の建設・運営段階に至るまで、プロジェクトを一気通貫で推進していく役割を担っており、コンストラクション・マネージャーや一級建築士の資格をもつ専門家を中心に約 220 名の従業員が在籍しています。

社内の情報を集約する場所として Garoon を導入された経緯や、サイボウズの業務アプリ開発プラットフォーム kintone との連携を含む活用について、事業統括本部 事業統括部の西村 貴裕さんと稲葉 美香さんにお話を伺いました。

導入前の課題

「全社ポータル」と「kintone とスケジュールの連携」の早期リリース

——山下 PMC 様について簡単に教えてください。

山下 PMC は建設をコアとするマネジメント企業です。メガプロジェクトを中心にさまざまな施設を手がけ、プロジェクトの上流から参画することで、お客様の事業戦略につながる施設戦略の提案・実行できる点が我々の強みです。一級建築士の有資格者などを中心とする建築の専門家約 220 名が在籍していますが、プロジェクトの上流工程から施設づくりに関わりたいという社員が多いですね。



事業統括本部 事業統括部飯野
西村 貴裕さん

—約 220 名の社員が在籍され、それぞれが異なるプロジェクトに関わるとすると、扱う情報も多種多様か
と思います。社内の情報共有にはグループウェアを利用されていたと伺いましたが、Garoon に移行する前
はどのような課題があったのでしょうか？

まず社内ポータルに課題がありました。山下 PMC では勤怠管理、経費精算、原価管理、名刺管理などさまざま
なシステムを使っています。しかしそれらのシステムの入り口がバラバラで使いづらく、不満の声が上がって
いました。ここ数年は社員が急激に増えており、次々と新しい社員が入社しています。彼らのためにも社内の
システムや情報を整理するポータルが必要でした。

Garoon 導入前に利用していたグループウェアでは簡単なリンク集しか作れず私たちが作りたいポータルとはほ
ど遠いものでした。もっと見やすく「ここを見れば社内の情報がどこにあるかわかる」という場所を作りたかつ
たのです。

—Garoon 導入前に kintone をすでにご利用いただいていたました。
kintone について課題はありましたか？

kintone (※) ではすでに多くのアプリを運用していました。その中で工数管理に利用している「業務日報アプ
リ」をグループウェアのスケジュールと連携したいと思っていました。「業務日報アプリ」には社員がどのプロ
ジェクトに何時間使ったかを毎月入力するのですが、スケジュールと連携すればもっと効率よく入力できると
考えたのです。

※kintone：サイボウズの業務アプリ開発プラットフォーム。業務に合わせたシステムをすばやく作成運用でき
る。

—導入検討から運用開始までのスケジュールがタイトだったと
伺いました。

全社ポータルの作成と「業務日報アプリ」のスケジュール連携の話が
持ち上がったのが 2020 年 8 月、本格的に着手したのが 10 月だつ
たのですが、2021 年の 4 月には本格稼働を開始する必要がありました。
約半年という短期間でリリースを完了させることも課題の 1 つでし
た。



事業統括本部 事業統括部
稲葉 美香さん

kintone との親和性を優先し サイボウズの Garoon を選択

—どのように製品選定を行いましたか？

約半年で運用開始する必要があったため、すでに利用していた **kintone との親和性が決め手**になりました。サイボウズ製品を前提に検討する中で、Garoon なら **ポータルやスケジュールなど必要な機能がそろっていますし**、API が用意されているのでカスタマイズや kintone とのデータ連携もやりやすいと考えました。

また、kintone のユーザー情報がそのまま使え **シームレスにアクセス**でき、画面デザインなどの **使い勝手が似ている**ことも重要でした。使い慣れた kintone と操作感が似ているツールなら社員も抵抗なく利用開始できます。山下 PMC は社員の年齢層が幅広いため直感的で使いやすいことが求められていました。

さらに、kintone のカスタマイズや運用を委託している有限会社リズムタイプ様が Garoon のカスタマイズに対応できることもポイントでした。新しく開発パートナーを探す必要がなく、プロジェクトが立ち上がってからすぐに詳細要件の検討に入れました。

このような背景から「**全社ポータル**」と「**kintone 連携**」を早期にリリースするためには **Garoon が最適**だと思いました。

—他の製品も検討されましたか？

Microsoft 365 を利用しているので SharePoint でポータルを作成し、Outlook と kintone を連携させる方法もあったかもしれませんが。しかし早期にリリースできる点や、使いやすさの点で **kintone との親和性が高い Garoon を使う方が良い**と考えました。

また当初は、ポータル構築やスケジュール管理もすべて kintone で実装することも考えました。しかし細かい要件を検討する中で kintone だけでは機能がマッチしないとわかり、Garoon を利用した方が良いという結論になりました。

「ここを見ればわかる」 全社ポータルが完成、kintone連携により工数管理の負担が半減

— 導入前の課題だった全社ポータルの構築はできましたか？

社内システムや資料へのリンクをまとめたポータルを作成しました。HTMLを利用して社外向けの企業サイトとデザインを合わせ、社員が見やすいように工夫しました。



社内システムや資料のリンクを集約した全社ポータル。社外向けの企業サイトと同じデザインにしている

これまではバラバラになっていた社内システムの入り口を 1ヶ所に集約し「ここを見に行けば社内システムへアクセスできる」場所を作ることができました。新しく入社した社員も必要な情報がどこにあるかすぐに把握できるようになりました。

Garoon導入前

スケジュール管理

経費精算

原価管理

勤怠管理

名刺管理

社内ツールや情報がバラバラ



Garoon導入後

Garoon



Garoonのポータルに集約



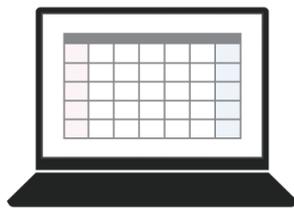
社内ポータルについての Garoon 導入後の効果

—もう1つの課題だった kintone 連携についてはいかがですか？

工数管理に利用している「業務日報アプリ」とスケジュールを連携するカスタマイズを実装しました。これによって社員が**工数入力する手間を大幅に削減**できました。

山下 PMC ではどのプロジェクトに何時間使ったかの工数を kintone の「業務日報アプリ」に入力して工数管理しています。以前は「業務日報アプリ」と旧グループウェアのスケジュールを目視で照らし合わせながら、いつどのプロジェクトの作業を何時間行ったのか、ひとつひとつ kintone に入力していたため**非常に手間がかかっていました**。多くの社員は月末にまとめてその作業を行うため、関わるプロジェクトが多い場合は1-2時間かかってしまう人もいました。

Garoon 導入前



スケジュール



連携なし



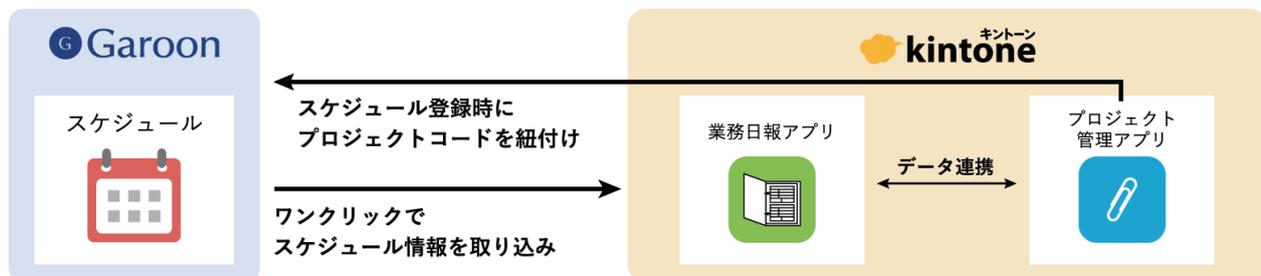
スケジュールを見ながら
工数とプロジェクトコードを
手動で入力するので**手間がかかる**



Garoon 導入前の工数入力のイメージ

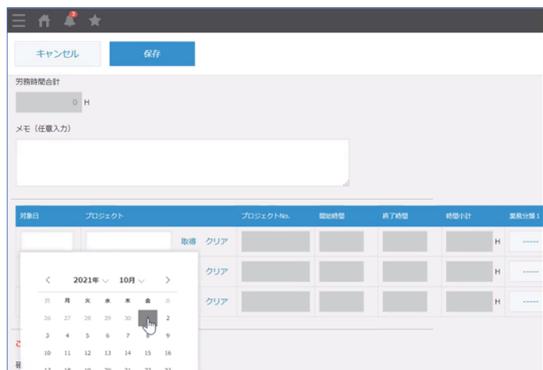
今回 Garoon と kintone をカスタマイズして「業務日報アプリ」からワンクリックでその月のスケジュールデータを取り込めるようになりました。また Garoon で予定を登録する時に kintone で管理しているプロジェクトコードと予定を紐付ける機能も入れました。

Garoon 導入後



Garoon 導入後の工数入力イメージ

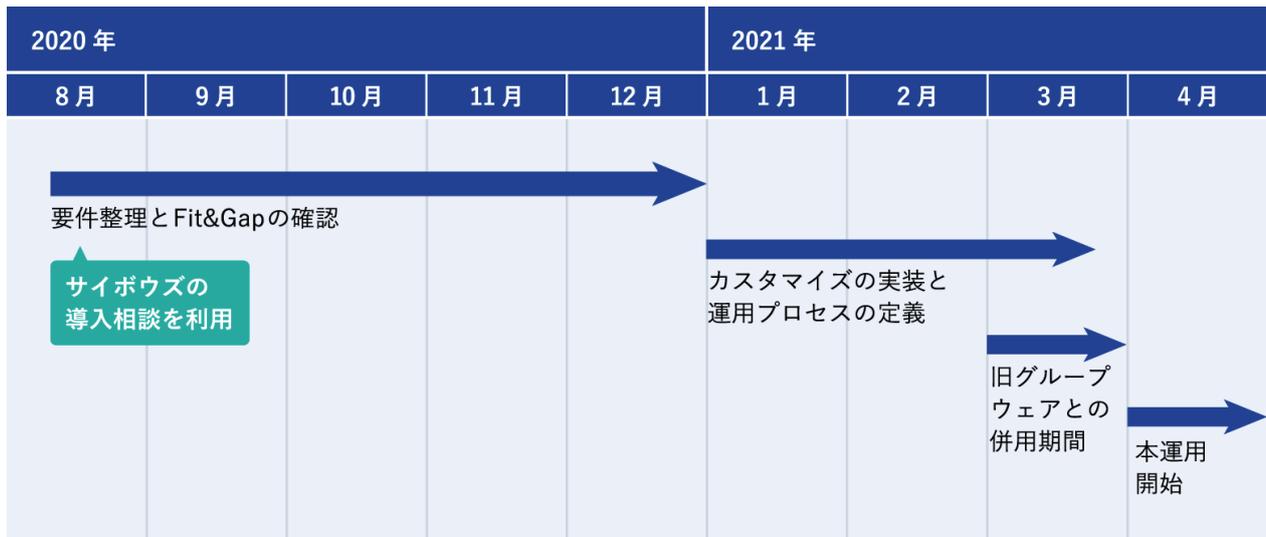
これにより現在は「業務日報アプリ」で「Garoon スケジュールの取り込み」ボタンを押すだけで工数入力できます。スケジュールにプロジェクトコードが紐付けられているので、どれがどのプロジェクトかを確認する手間も省けます。工数入力にかかる時間は大幅に短縮され、体感としては**作業負担が半分**くらいになりました。特に複数のプロジェクトに関わる人は楽になったと思います。

Garoon 導入前	Garoon 導入後
 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #003366;">工数入力に手間がかかる</p> 	 <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #003366;">1クリックでスケジュールを取り込み、工数入力が完了</p> 

工数入力についての Garoon 導入後の効果

—Garoon と kintone の連携で、工数入力の手間が削減できたのですね。
カスタマイズの実装はスムーズに進みましたか？

2020年8月に本格検討を開始した頃、サイボウズの導入相談カフェで今回やりたいことを相談しました。この段階で要件を整理できたことでその後の実装がスムーズに進んだと思います。2020年12月までに細かい機能のFit&Gapを検討、2021年の1月からカスタマイズの実装や運用プロセス定義を行い、2021年4月から全社で本運用を開始しました。予定通り短期間で運用開始でき、ほっとしています。



Garoon と kintone を連携するカスタマイズの実装スケジュール

—旧グループウェアから Garoon へのデータ移行はどのように行いましたか？

旧グループウェアからはスケジュールと掲示板のデータを移行しました。あまりデータが多くなかったため、大きなトラブルもなく移行できました。以前から全社で kintone を使っていたので、ユーザー情報を設定せずに済んだのも大きかったですね。サイボウズ製品でなければ大変だったかもしれません。スケジュールや業務日報の入力方法など、多くの問い合わせが想定される部分については、マニュアルを作成しました。Garoon のファイル管理で共有し、いつでも参照できるようにしています。

—現在 Garoon や kintone、Microsoft 365 などさまざまなシステムをお使いかと思います。
使い分けの方針はありますか？

まず大まかに、総務や経理などのコーポレート関連の情報共有はサイボウズ製品で、お客様とのプロジェクトに関わる資料作成やコミュニケーションは Microsoft 製品で行うようにしています。

サイボウズ製品の中では、分析や集計などデータ活用が必要な業務は kintone で、それ以外は Garoon でとい

う方針がありますが、担当者が使いやすい方を柔軟に選べるようにしています。社内では **Garoon** か **kintone** かを意識せず使っている人も多いですね。Garoon に関する問い合わせが来たと思ったら実は kintone の問い合わせだった、なんてこともよくあります。

今後の展望

外部システムとのさらなる連携と 業務のシステム化の推進

—今後実装したいカスタマイズや連携機能はありますか？

まず **Garoon** のスケジュールと勤怠管理システムを連携したいと思っています。それができれば、勤怠管理、スケジュール、工数管理が一元的に管理でき、さらに効率化を図ることができると考えています。また山下PMCで提供している施設管理サービス「b-platform」との連携や、**Microsoft 365** とのユーザー情報の共通化も強化していきたいです。

—外部システムとの連携強化でさらに使いやすくなりそうですね！

社内の情報共有に関してはいかがでしょうか？

Garoon のポータルを活用して部署間の情報共有をさらに進めていきたいです。今回全社ポータルを作成したことで、部署同士の取り組みが以前よりも見えやすくなり、他部署の取り組みを見た管理部門から「kintoneで名刺発注依頼アプリを作れませんか？」「契約書管理アプリを作りたいです」といった問い合わせが増えてきました。ポータルでの情報発信が kintone を活用するきっかけとなり、各部署の業務効率化につながっています。

旧グループウェアから比べるとライセンス費用は上がりましたが、増加した費用以上の効果を感じています。今後は、たとえば各部署のアウトプットや検討中の企画をポータルに集めて共有するなど、お互いの仕事が見



事業統括本部事業統括部のお二人

詳しい使い方

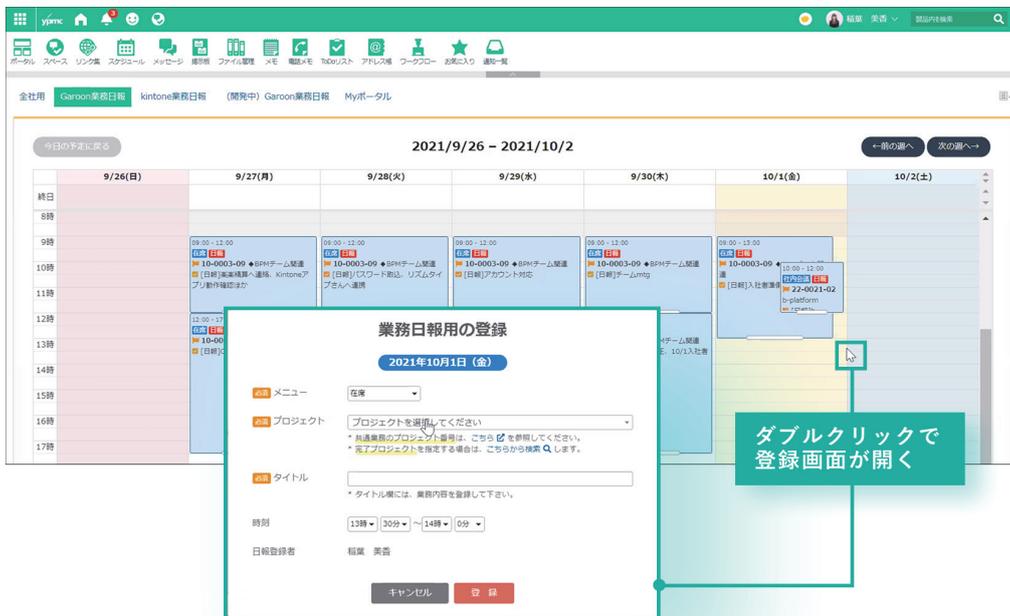
kintone 連携・スケジュール カスタマイズ・ファイル管理

——kintone とスケジュールとの連携

kintone と Garoon の連携の詳細は以下の通りです。

まずプロジェクトに関する予定を入力するときは、Garoon に作成した「業務日報ポータル」を使います。ポータルに表示された独自のスケジュールビューをダブルクリックすると専用の登録画面が開きます。ここで予定の時間、タイトルとともに、プロジェクトコードを入力します（このプロジェクトコードは kintone に作成した「プロジェクト管理アプリ」と連携しています）。登録が完了すると、Garoon のスケジュールにプロジェクトコードと業務日報タグが付与された予定が作成されます。

※業務日報タグはカスタマイズによって独自に設定しているものです。



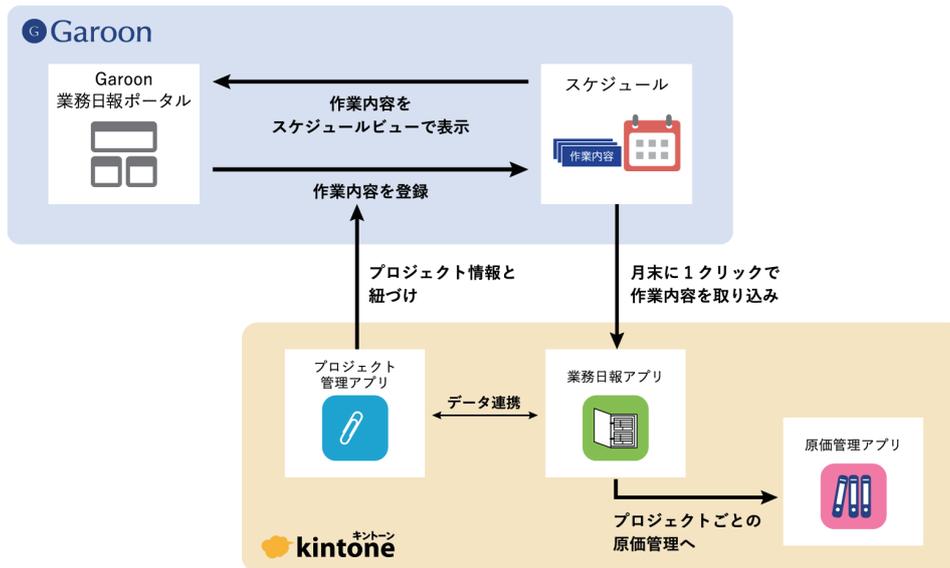
業務日報の登録画面。Garoon のポータルをカスタマイズし独自のスケジュールビューを表示している。

月末に工数登録をするときは、kintone で「業務日報アプリ」を開き、「Garoon スケジュールを取り込み」ボタンをクリックします。すると**業務日報タグが付与されたその月の予定が自動で取り込まれます**。プロジェクトコードも付与されているので、**工数入力ワンクリックで完了**します。もちろん、入力漏れや不備があったら手で修正も可能です。



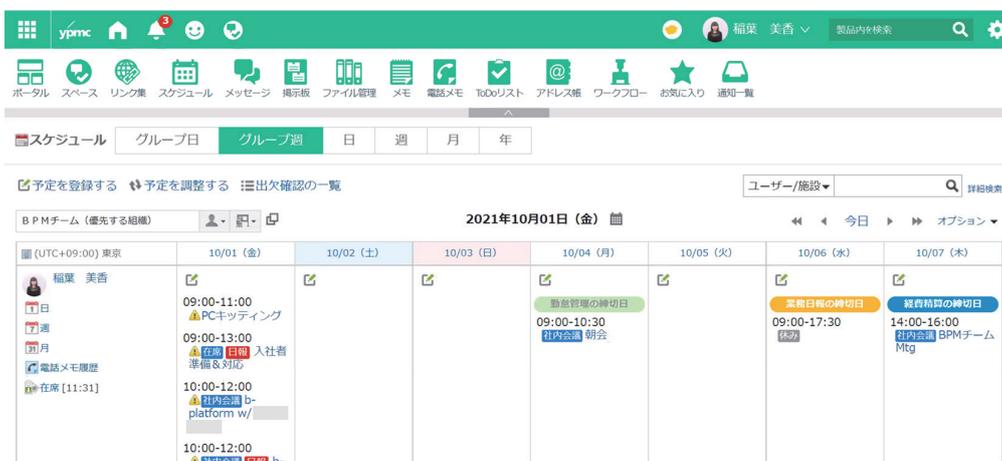
業務日報アプリからスケジュールを取り込むときの画面。Garoon のスケジュールがワンクリックでレコードに転記される。

具体的なシステム構成は以下のようになっています。Garoon のポータル、Garoon スケジュール、kintone の業務日報アプリにそれぞれ JavaScript カスタマイズを実装しています。



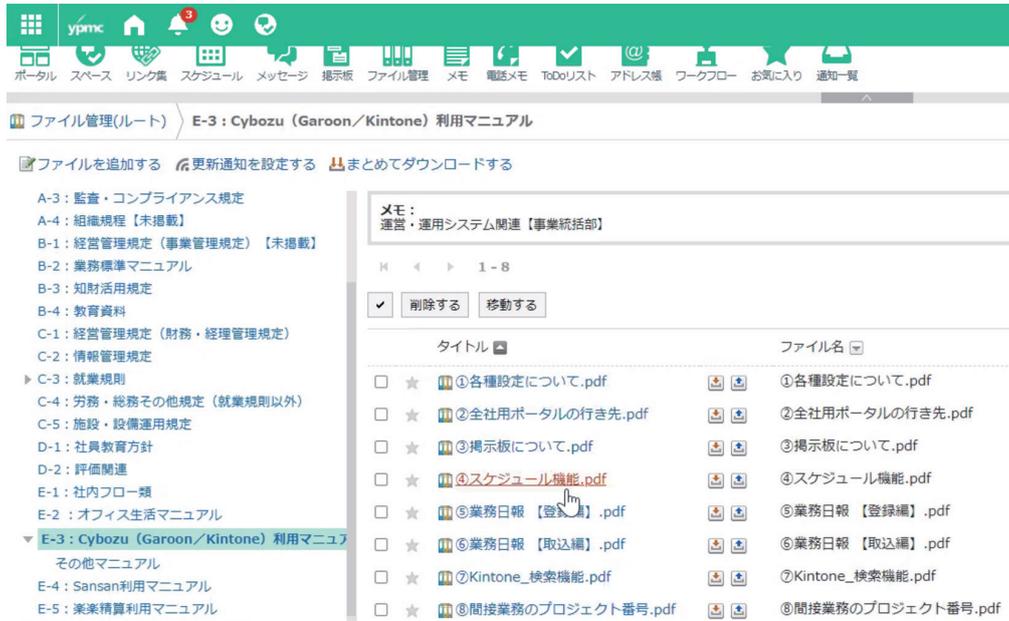
——スケジュールに経費精算や日報提出の締め切りを表示

Garoon のスケジュールに JavaScript カスタマイズを実装し、**経費精算や日報提出の締め切り**をスケジュールに表示しています。表示内容や条件は JavaScript ファイルの中に記述しています。



経費精算や業務日報の締め切りをスケジュールに表示し、申請忘れを防止

マニュアルや社内規程は Garoon のファイル管理に格納し、社員から問い合わせが来たときは、ファイル管理の URL を案内しています。Garoon のポータルやスペースでファイルを共有するときもファイル管理の URL を記載します。ファイルを直接添付すると、内容が更新されたときに修正が難しくなりますが、URL を案内しておけばファイル管理のファイルで更新するだけで常に最新の情報を共有できます。



社内規程やシステムのマニュアルを置いているファイル管理